

いつもお世話になりありがとうございます。4月4日は「あんぱんの日」。あんぱん発祥の店として知られる銀座木村屋が天皇陛下にあんぱんを献上したことに由来する記念日です。そのあんぱんとは、八重桜の塩漬けを入れた『桜あんぱん』。明治8年のことでした。それから130年以上経った現在でも桜あんぱんは140円で売られています。

痛快! えだまめ君

画:ほりひろみ



知っところ! 「税務のママ知識」

【差し押さえられたバイオリンの関税額は・・・】

昨年の8月、ベルギー在住の日本人音楽家、堀米ゆず子さんが使用するバイオリンの名器『ガルネリ』が、ドイツのフランクフルト国際空港で税関当局に差し押さえられました。日本からの帰りにフランクフルトで飛行機を乗り換えようとした際、持っていたバイオリンの輸入申告を怠ったとして差し押さえられ、バイオリンの評価額100万ユーロ（当時で約1億円）の19%にあたる19万ユーロの関税の支払いを求められました。最終的に今回のバイオリンは無償で返還されましたが、サッカーの乾貴士選手が申告しなかったことを理由に腕時計を押収されるなど、トラブルはたびたび発生しているようです。なお、ドイツでは一般に、総額430ユーロ相当以上の物品をEU加盟国以外の第三国から持ち込む場合には、一時輸入の申告をする必要があります。そもそも「関税」とは、古代都市国家における手数料からはじまり、内国関税、国境関税というような変遷を経て、現在では一般に「輸入品に課される税」となっています。国内の産業を守ることや、税金収入を得ることが主な目的とされています。いま賛否をめぐる議論が続いている環太平洋パートナーシップ（TPP）協定は、こうした関税と非関税障壁を撤廃し国境を越えて自由貿易圏を作ろうという構想ですが、メリットもあればデメリットもあり大変難しい問題です。



今月のあなたの運勢

鑑定: 妙慎

A型	B型	O型	AB型
良かれと思ってしたことが仇となりやすい暗示。本当に相手のためになるのかよく考えてから行動しましょう!	感情を穏やかに保つと吉運が高められる月。社内での揉め事は静観し、できるだけ関わりを持たないことです。	小事でも工夫すると予想以上の実りが得られそう。良い知恵が出ないときは公園を散歩して気晴らしすると吉!	社交運が活発なので人の集まる場所に出かけると吉。ただし金運は後半から下降するため支出の管理は慎重に!

社員のひとこと日記

先日の出来事。

家で使用し続けていた掛け時計が壊れ、買いに行くことになりました。その時ふと思ったのが、当たり前の事なのですが、「時計って壊れるんだ」と感じたことです（5年程使っていました）。長持ちするものは、つい「ずっと使える」と自分の中で勘違いしてしまいがちです。そういったものが壊れたとき、何か自分の中で「最後まで使い切ったんだな」とちょっとした想いを抱きます。

昔の自分はものに対して飽き性なところがあり、最後まで使い切れることが出来ませんでした。特に文房具に関しては置き忘れなどもあり、最後まで使い切るという事がなかなかありませんでした。でも、最近少しずつですが、（ボールペンのインク等）最後まで使い切る事が出来てきたかな・・・と感じています。（飽き性が治ったわけではありません（汗））

最近はものに溢れ、また魅力的なものも多々出てくる世の中です。（魅力的な）ものを作り、消費されなければ世の中が回らない事もわかります。でも、そのなかで、一つのものに対して最後まで付き合う（使い切る）大切さを改めて考えていかなければと反省したのです。

遊津

365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【何のためにメモを取るのか？】

今では社長となったAさんは、新入社員を迎えるシーズンになるとサラリーマン時代に経験したある出来事を思い出し、襟を正すそうです。



それは社会人一年生になった年のことでした。商談の帰り道にいきなり先輩から怒られたAさんは慌てて記憶をたどりましたが、商談中にミスをした覚えはありません。「お客様がしゃべっているとき、君はまったくメモを取っていなかったら？」。先輩の指摘にAさんは「なんだそれか」とホッとしました。

確かにAさんはメモを取らなかったそうですが、それは記憶力に自信があったからです。「私は一度聞いたことは忘れないのでご安心ください」。Aさんは得意の記憶力を駆使して商談から得た顧客の情報を先輩に披露しました。我ながらの記憶力に、「ほら先輩、よく覚えているでしょ」と自慢したい気さえていたそうです。しかし、Aさんは大きな勘違いをしていたのです。「君の記憶力はたいしたものだ。自分で覚えているというなら、それはそれでいい。だがね、メモは自分のためにあるんじゃない。相手のためにメモを取る。それが仕事というものだよ」。人の記憶力は大して当てになりません。メモというのは忘れてしまうことを前提にした対策です。それなのに大事な商談でメモを取らなければ、「この人、本当に大丈夫かな？」と相手は不安に思うでしょう。自分が忘れないためにはもちろん、相手のためにもメモを取る。それがたとえポーズでも、相手の話を真剣に聞いていることを伝えるためにメモを取る。

それが社会人としての第一歩だという先輩のアドバイスでAさんは、今ではメモ帳を持ち歩くようになったそうです。30年も前のこの出来事は、「何のためにそれをするのか」という本質的な問いをいまだにAさんに投げかけます。「自分のためだけなら商売にあらず。利益最優先ならお客様のためならず」。今年もAさんが襟を正す時期がやってきました。

